

第155回
定時株主総会
当日説明資料
(ご参考)

～ 本資料で引用する招集ご通知について～

本資料で引用している招集ご通知のページ数は、弊社ウェブサイトに掲載している、「第155回定時株主総会招集ご通知」に基づいております。

「第155回定時株主総会招集ご通知」は下記リンクからご覧いただけます。

第155回定時株主総会招集ご通知URL:

<https://www.yasuda-soko.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=dqBgSbifg5I%3d&tabid=133>

1. 企業集団の現況に関する事項

日本経済

企業収益や個人消費に持ち直しの動き
コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進行

世界的なエネルギー・原材料価格の高騰
欧米各国の金融引締め等による景気後退懸念

先行きは不透明な状況が継続

倉庫物流業界

- 国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きに回復の兆し
- エネルギー・原材料価格高騰の影響
- 労働力不足への対応

不動産業界

- オフィスビルの空室率は高い水準で継続

引き続き厳しい状況で推移

物 流 事 業

事業基盤の強化

- 付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充による取引の拡大
- 物流施設の増強
九州営業所 第二倉庫の開設 等

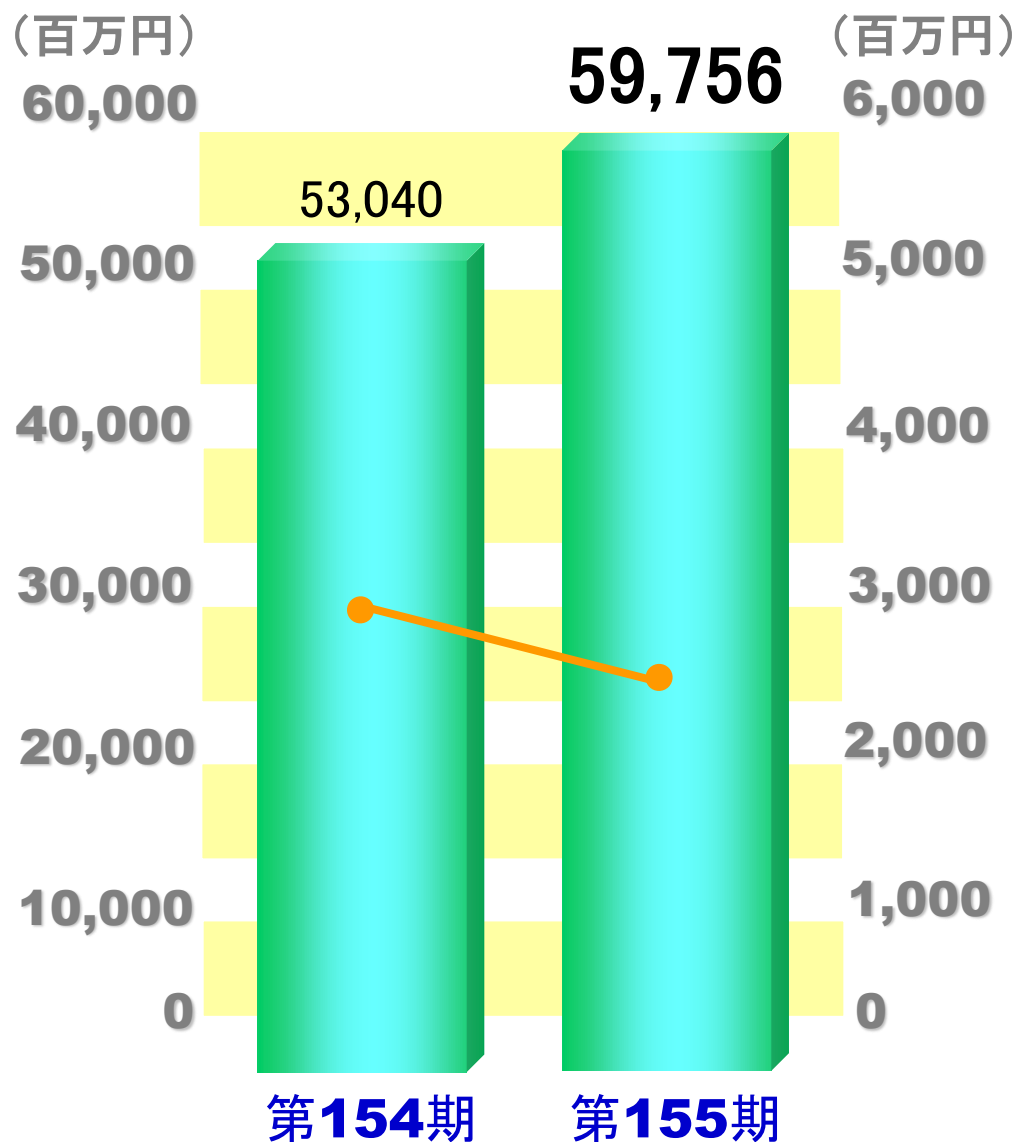
不 動 産 事 業

稼働率の維持・向上

- 保有不動産の維持管理
- 保有不動産の価値向上施策

保有不動産の再開発促進

当連結会計年度の業績



営業収益

59,756百万円

前期比6,716百万円増
(12.7 %増)

営業利益

2,534百万円

前期比375百万円減
(12.9 %減)

経常利益

3,776百万円

前期比261百万円減
(6.5 %減)

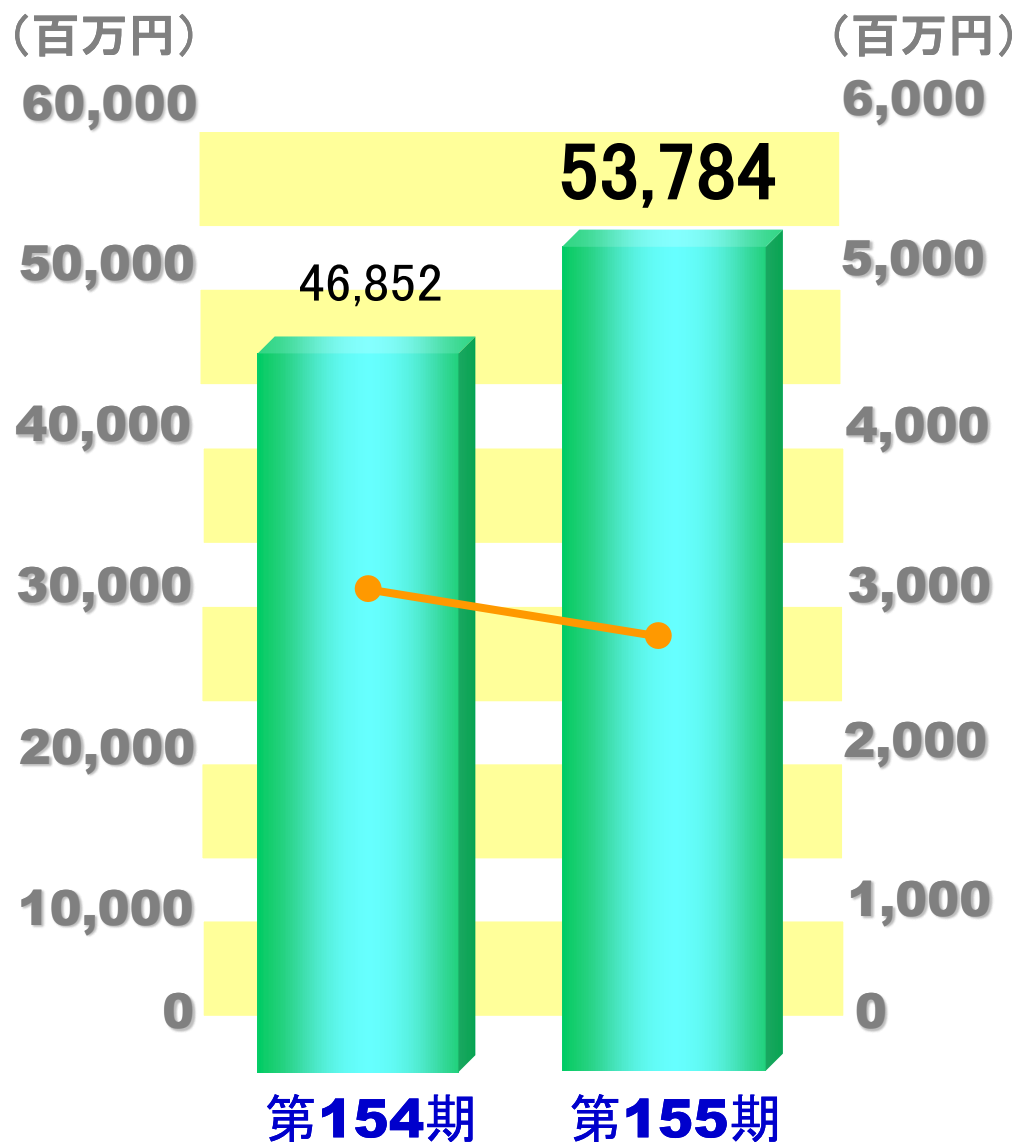
親会社株主に
帰属する
当期純利益

2,245百万円

前期比627百万円減
(21.8 %減)

物流事業の業績

YASDA



営業収益

53,784百万円

前期比6,931百万円増
(14.8 %増)

セグメント利益 (営業利益)

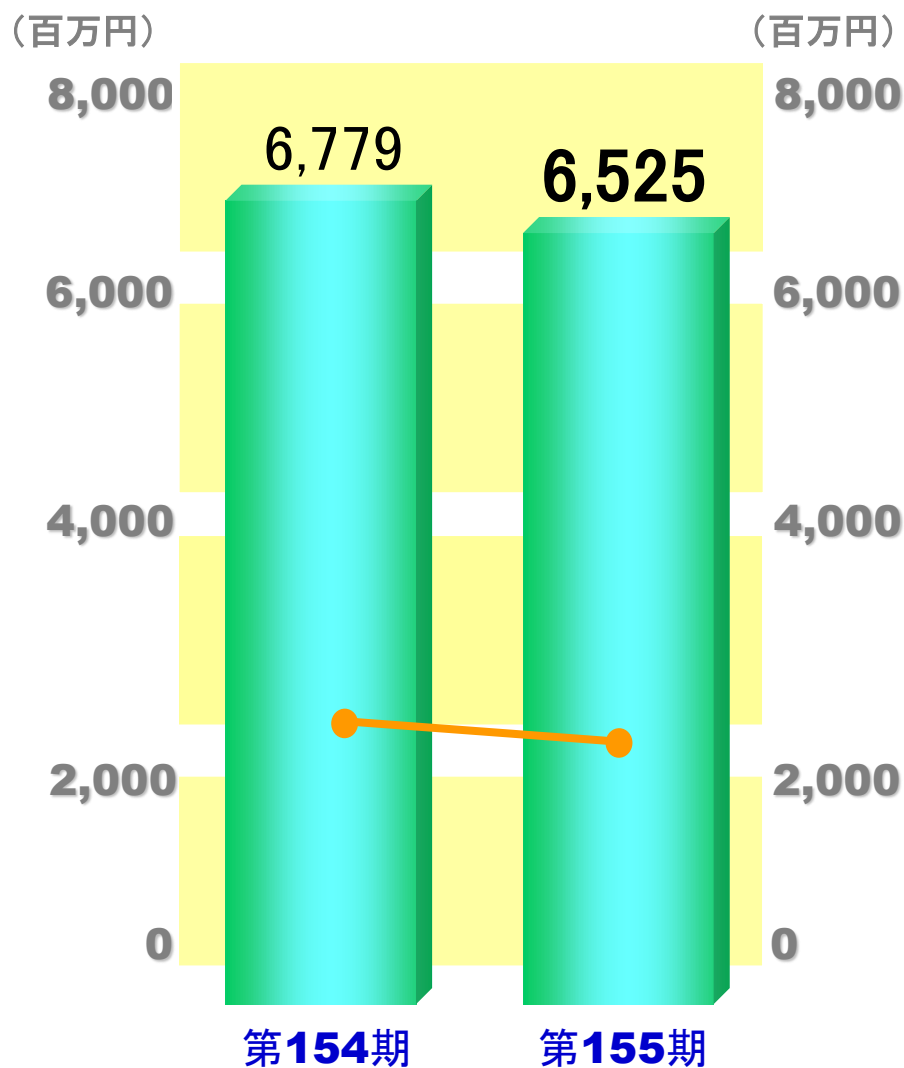
2,958百万円

前期比240百万円減
(7.5 %減)

- 新規の取引開始や既存顧客の取引拡大
輸配送ネットワークの拡充
- 燃料費や光熱費の高騰など
営業原価の増加



不動産事業の業績



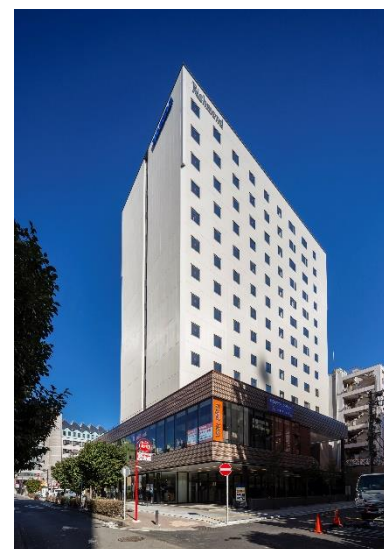
営業収益

6,525百万円
前期比253百万円減
(3.7 %減)

セグメント利益 (営業利益)

2,062百万円
前期比34百万円減
(1.6 %減)

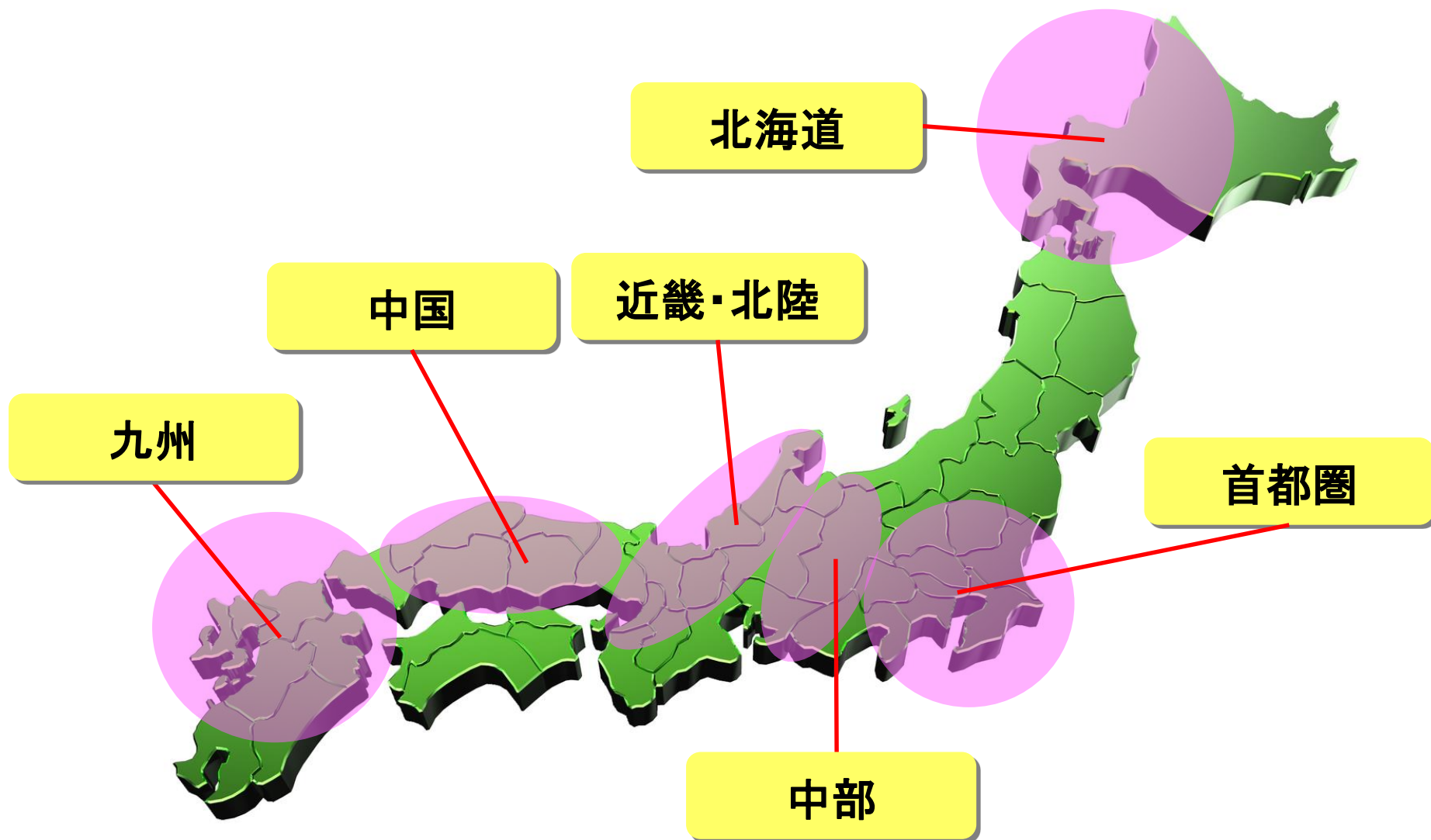
- 前年同期計上の大規模な施工工事の影響



2. 企業集団の主要拠点等

主要拠点

国内事業拠点



主要拠点

YASUDA

■ 海外事業拠点



安田物流(上海)有限公司



安田中倉国際貨運
代理(上海)有限公司



YASUDA LOGISTICS
(VIETNAM) CO., LTD.
(ハノイ)



PT. YASUDA LOGISTICS
INDONESIA
(ジャカルタ)
PT. JAYA YASUDA
INDONESIA
(ジャカルタ)

3. 連結計算書類等

第155回招集ご通知 58ページ～60ページ

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書

第155回招集ご通知 61ページ～63ページ

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書

当社ウェブサイトに掲載

連結注記表、個別注記表

4. 会社の体制及び方針等

第155回招集ご通知 55ページ～57ページ

業務の適正を確保するための体制及び
運用状況の概要

当社ウェブサイトに掲載

株式会社の支配に関する基本方針

第155回招集ご通知 57ページ

剰余金の配当等の決定に関する方針

第155回招集ご通知

47ページ～54ページ

会社の株式に関する事項

会社の新株予約権等に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人の状況

5. 対処すべき課題

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で 全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す



■中期経営計画

変わらず、変える。

YASDA Next Challenge 2024

■基本方針

最先端テクノロジーと人間力を融合した、
「YASDA Value」で多様化する社会とお客様ニーズに応える。

YASDA Value = お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする安田倉庫グループで共有する価値

■基本目標

業績目標

営業収益
650億円

営業利益
40億円

経常利益
48億円

営業利益率
6%

物 流

お客様のビジネス環境に合わせた
最適なサービス提供と、
既存の物流の領域に捉われない
新サービスの創造

不動産

保有不動産の再開発による
収益基盤の更なる強化

経営インフラ

社会環境の変化にも
柔軟に対応できる
サステナビリティ経営基盤と、
確固たる現場力・人間力の確立

■基本戦略

付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充

- ソリューション提案型営業の深化
- メディカル物流拠点の拡充と体制の強化
- IT機器ライフサイクルマネジメント業務体制の拡充
- EC物流サービスの拡充
- ワークスタイルの変化に適応したオフィスサポートの事業転換
- 国内外の輸配送ネットワーク拡充
- 新しい物流技術・DXの活用による新サービス開発

保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じた事業拡大

- 芝浦地区、横浜地区の保有不動産再開発
- お客様ニーズに応じた施設の適切なメンテナンスと機能向上

「YASDA Value」に磨きをかけるための経営インフラの高度化

- 多様な人材活用と専門人材育成
- 働きやすい環境の更なる整備
- DXの基盤としての情報システム高度化
- グループ連携の強化
- ステークホルダーの持続可能な発展に貢献するサステナビリティの取り組み推進
- コンプライアンス、リスク管理の徹底とガバナンス強化
- サービス品質の維持・向上に向けた品質管理体制と現場力強化
- 事業基盤の災害強靱化と防災徹底
- 規律ある財務運営と成長投資の両立
- YASDA Next Challenge (新規事業・新規施策)

メディカル物流事業の拡充・強化

■エーザイ物流株式会社のグループ会社化



医薬品物流に特化した豊富な経験とノウハウを有する
エーザイ物流株式会社をグループ会社化

➡ 国内屈指の医薬品物流プラットフォームを構築し、
安定した総合メディカルサービスの提供を目指します

メディカル物流事業の拡充・強化

■ 株式会社ニューロシューティカルズへの出資



医療分野に関する幅広い知見やネットワークを有する医療機器開発ベンチャー企業の株式会社ニューロシューティカルズへ出資



出資を通じて、メディカル物流サービスの拡充や更なる業容の拡大を目指します

倉庫・輸配送ネットワークの全国への拡大

■OSO株式会社(現:YSO Logi株式会社)のグループ会社化



京都府八幡市を中心に拠点を展開する
OSO株式会社(現:YSO Logi株式会社)をグループ会社化

➡ 物流ネットワークを共有することで生まれるシナジーで
サービスメニューの更なる拡充を目指します

倉庫・輸配送ネットワークの全国への拡大

■「九州営業所 第二倉庫」開設



九州における当社グループの新たな物流拠点として
「九州営業所 第二倉庫」を開設



九州営業所との一体運営により、
九州全域向けの配送機能の強化を図ります

倉庫・輸配送ネットワークの全国への拡大

■ 埼玉県加須市北大桑新倉庫の建設着手

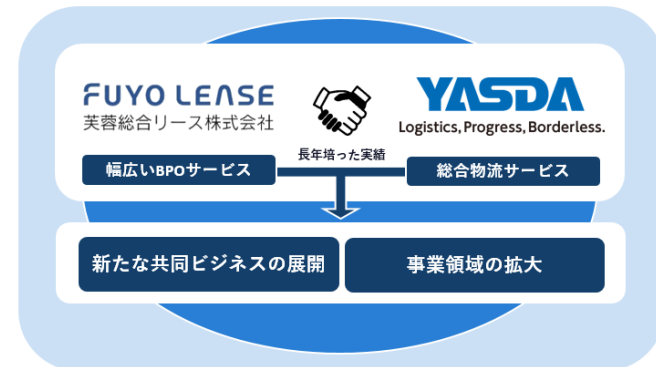


埼玉県加須市北大桑にて自社倉庫の建設着手

➡ 医薬品専用の輸配送網と、医薬品管理に必要なGDPを備えた新たな医薬品物流拠点として、
医薬品物流サービスの更なる拡大を目指します

事業領域の拡大

■ 芙蓉総合リース株式会社と BPOサービス事業分野で業務提携



海外・国際物流サービスの拡充

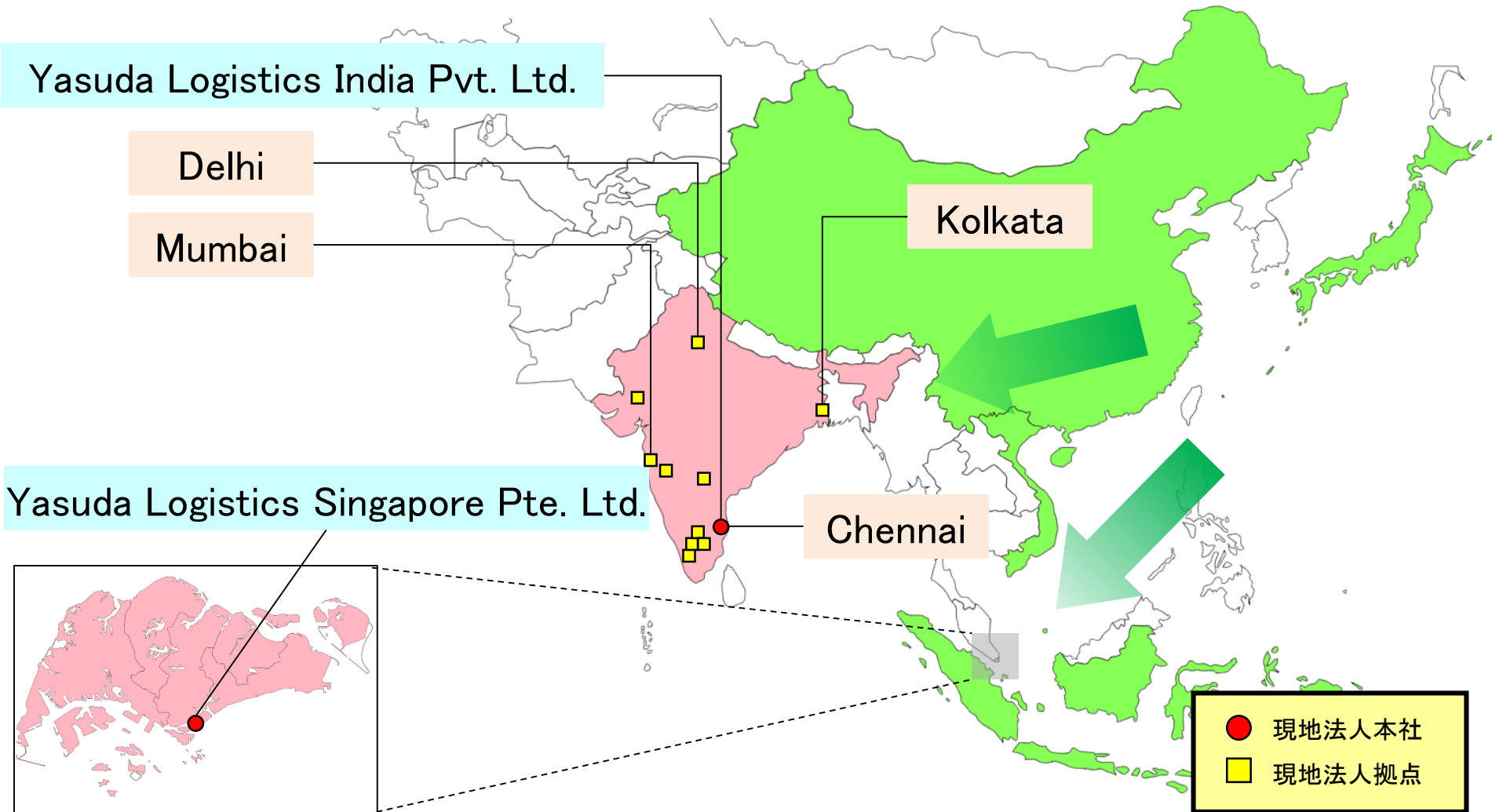
■ インドネシアにおける倉庫会社の設立

インドネシアにおいて、フォワーディング事業を目的とするグループ会社に加えて、新たに倉庫会社を設立

社名： PT. JAYA YASUDA INDONESIA

海外・国際物流サービスの拡充

■シンガポール及びインドにおける新たな海外拠点の展開

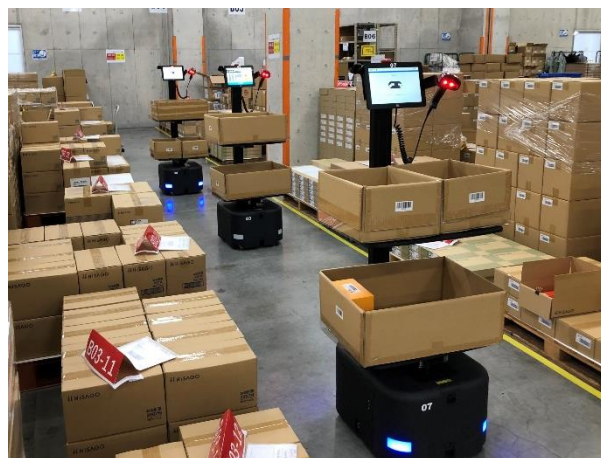


DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

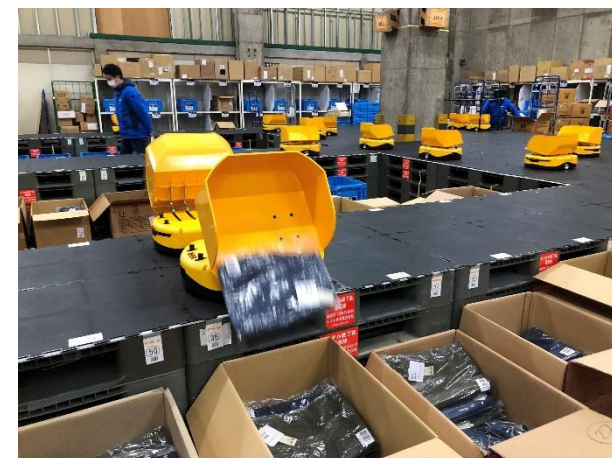
- 倉庫内作業の省人化・省力化を目指し、
倉庫現場にロボットを順次導入



AGV(自動搬送車)



AMR(自律走行搬送ロボット)



次世代型ロボットソーター

サステナビリティへの取組み

- TCFDの提言に賛同を表明
気候変動が当社グループの事業活動に
与える影響に関する情報をホームページに開示



- 東京都より「地球温暖化対策優良事業者」にて、
SSランク(極めて優良な事業者)の評価獲得



- 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”にて、
「Superior(スーペリア)」の認定取得

横浜市SDGs認証制度



(横浜市SDGs認証制度 / 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。)

対処すべき課題(配当金について)

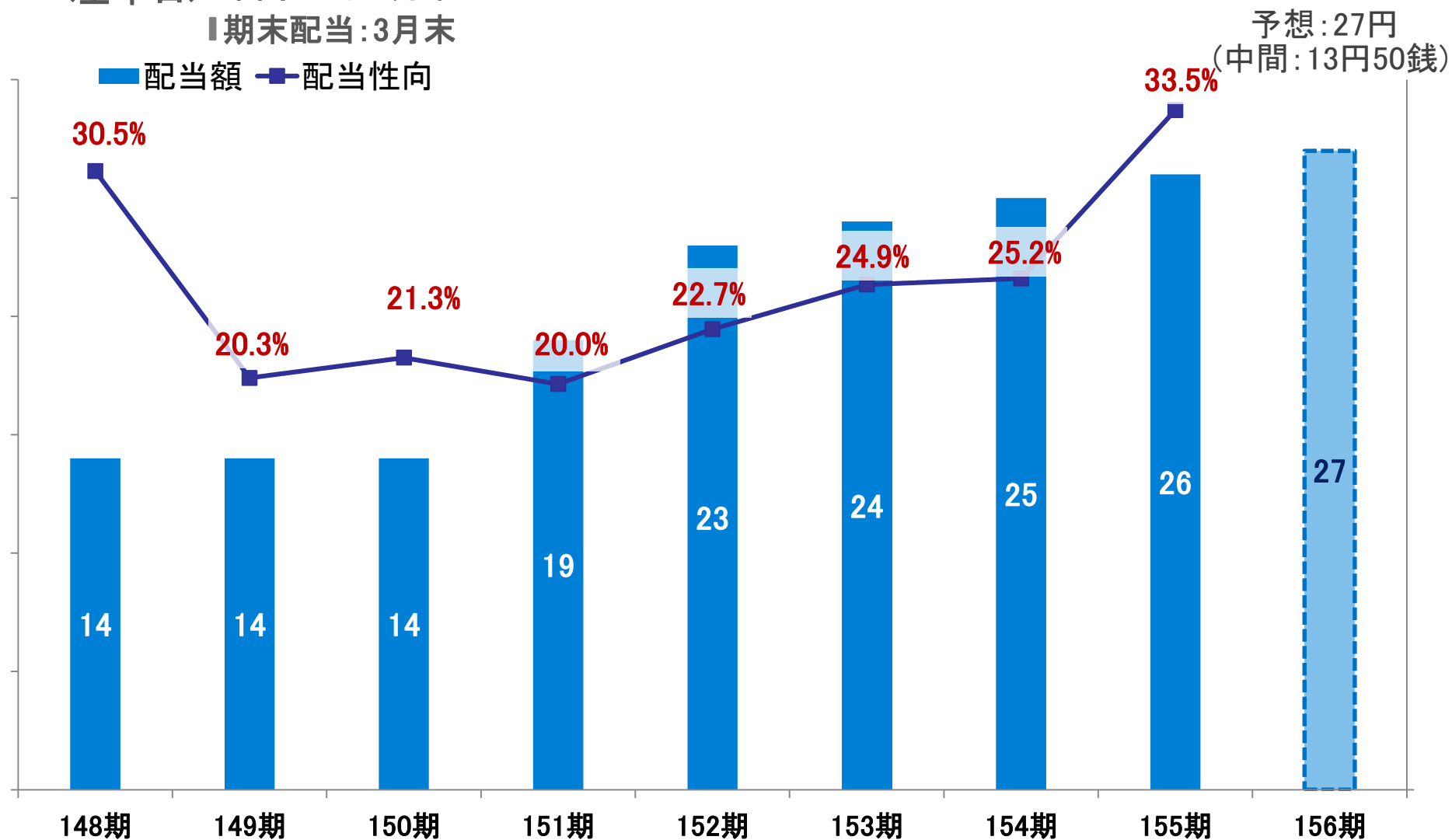


■ 安定配当を基本としつつ利益水準等を勘案し決定

＜基準日＞■ 中間配当:9月末

■ 期末配当:3月末

■ 配当額 ■ 配当性向



第155回
定 時 株 主 総 会
決 議 事 項

第1号議案 第155期剰余金処分の件

期末配当金

1株につき13円50銭

中間配当金とあわせ

1株につき年間26円

詳しくは第155回招集ご通知の[5ページ](#)をご参照ください

第2号議案 取締役8名選任の件

- | | |
|----------|----------|
| 1. 藤井 信行 | 5. 井福 正博 |
| 2. 小川 一成 | 6. 曾禰 寛純 |
| 3. 武藤 博幸 | 7. 坂本 森男 |
| 4. 松井 正 | 8. 周藤 晴子 |

詳しくは第155回招集ご通知の6ページ~13ページをご参照ください

第3号議案 監査役4名選任の件

1. 鷺谷 輝雄
2. 藤原 和雄
3. 藤本 聡
4. 梅本 武文

詳しくは第155回招集ご通知の14ページ~17ページをご参照ください

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

吉田 宏二

詳しくは第155回招集ご通知の18ページをご参照ください

第5号議案 当社株式の大量買付行為に関する 対応策(買収防衛策)の継続の件

今回追加

株主共同の利益の確保・向上の観点から、以下の通り改定

- ・独立委員会から、対抗措置を発動するか否かにつき株主総会に諮るべきである旨の勧告を受けた場合において、当社取締役会が、株主意思を直接確認することが適切と判断するときには、当社取締役会は、株主総会の招集を決議し、対抗措置発動の是非に関する株主の皆様意思を確認するものとする。

(ご参考)企業価値向上のための当社の不断の取組み

- ✓ 長期ビジョン及び中期経営計画に基づく諸施策を実行

(ご参考)取締役会の規律を強化するべく、コーポレート・ガバナンス強化の取組み

- ✓ 指名・報酬諮問委員会の設置(過半数を独立社外取締役で構成)
- ✓ 取締役会の構成見直し(取締役に占める独立社外取締役比率の増加)

なお、第2号議案が承認された場合、取締役8名の内、半数の4名が独立社外取締役に構成

- ✓ 執行役員制度の導入(監督機能と業務執行機能の区分の明確化)
- ✓ 株式報酬制度の導入

詳しくは第155回招集ご通知の19ページ~36ページをご参照ください

ありがとうございました

